

楽しい理科のはなし2015 不思議の箱を開けよう

宮城県内の小学生たちに科学への興味・関心を高めてもらうため、東北大学の先生を招いて行われる出前授業「楽しい理科のはなし」。仙台市と大和町の小学校6校で授業が行われ、小学生たちが自ら自然現象の不思議や化学反応の面白さを体感しました。いつもの授業ではなかなか体験できない楽しい実験を通して多くのことを学び、科学の奥深さを実感しながら、学習への意欲を高めることができました。

■主催／河北新報社、東京エレクトロン宮城株式会社
 ■協力／東北大学 ■後援／仙台市教育委員会、大和町教育委員会

飛ぶのがうれしいペットボトルロケット



大和町立小野小学校

「ロケットはどうやって飛ぶのか」ということについて、圓山先生は「鉄腕アトム」を例に分かりやすく解説。作用・反作用を実演して見せることで、ロケットには燃料を使ったジェット力が重要であることを示しました。この力を応用した日本のH2Aロケットと、授業の後に作るペットボトルロケットの原理は同じ。この後の工作に、子どもたちは期待に胸を膨らませていました。

講師

東北大学流体力学研究所
 圓山重直 教授

作って飛ばそう
 みんなのロケット



大空を駆ける
 個性豊かなロケット

授業が終わると九つのグループに分かれ、いよいよペットボトルロケットを制作。大学生のお兄さんたちに教わりながら、胴体・羽根・先端部を丁寧に作ります。羽根の形や向きを自分なりに考え、各パーツを組み合わせたら思い思いに装飾。個性あふれるロケットを手に、最後は校庭にある発射台にセットしてその飛距離を競い合いました。



武田 羽蘭さん
 遠くまで飛ばせたよ！
 初めてのペットボトルロケットはお兄さんに教えてもらいながら作ったので、思ったより遠くまで飛ばすことができました。羽根の形を考えるときは友だちと相談しながらできたのでとても楽しかったです。



小山田 有希さん
 ロケットのすごさを実感
 ロケットがどうやって飛ぶのか、鉄腕アトムを例に分かりやすく教えてもらえたのでとても興味を持ちました。ペットボトルロケットはお兄さんが優しく教えてくれたので上手に作る事ができました。



2015年(平成27年)
 8月2日(日)
 河北新報社
 〒980-8660
 仙台市青葉区五橋1-2-28
 www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111
 読者相談室 (211)1447
 ご購読申し込みは
 オオク ミナヨム
 0120-09-3746

河北新報